令和4年第1回TC194国内委員会報告

報告日:2022年4月19日(火) 14:00~17:00

報告者: ISO TC194 WG4 矢野一男(主査:報告者)、藤井清康(副査)、金澤由基子、 石川廣、山口拓(オブザーバー)

報告内容:

1. 新規委員加入及び退任(敬称略)

	氏名(所属)
新規委員加入	岡敏子(PMDA 信頼性調査)
	福島弘子(PMDA 信頼性調査)
	田村敦史(広島大学)
	石川廣(山梨大学)
退任	藤井清隆(京セラ)

2. TC194 WG4 概要



参加国(32 カ国)

Argentina (IRAM), Australia (SA), Austria (ASI), Bahrain (BSMD), Belgium (NSN), Brazil (ABNT), China (SAC), Denmark (DS), Egypt (EOS), France (AFNOR), Germany (DIN), India (BIS), Iran, Islamic Republic of (INSO), Ireland (NSAI), Israel (SII), Italy (UNI), Japan (JISC), Korea, Republic of (KATS), Malaysia (DSM), Netherlands (NEN), Norway (SN), Portugal (IPQ), Russian Federation (GOST R), Saudi Arabis (SASO), Singapore (SSC), Spain (UNE), Sweden (SIS), Switzerland (SNV), Tanzania, United Republic of (TBS), Thailand (TISI), United Kingdom (BSI), United States (ANSI)

国際編集委員会(8名:FDA2名、米国産業会2名、欧州産業会2名、PMDA1名、日

	TC194 WG4	国際編集委員	.会(2022)
Vacant (FDA)	Vacant (FDA)	Jennifer Kerr (Cook Research Inc	.) (Boston Scientific)
Vacant (Medtronic)	Danielle Giroud (WMDO)	Vacant (PMDA)	Kazuo Yano (Medtronic Japan) SI-4
2020 年に き重要な事	SO 14155 改訂版が多 項がある。 ネジメント:2020 - であるとのフィード	年版の ISO14155 に) バックを受理した。	年目になっていないが、協議す~ 広範に組み込んだが、引き続きā
ISO 14971			
ISO 14971 因のベネ 用しよう を明確に	フィット・リスク評 している(丸に穴に する必要がある	、四角い管を押し	目違点・・・ISO 14971 を厳格に〕 入もうとしているようだ)⇒用詞
ISO 14971 因のベネ 用しよう を明確に) ISO 14971 リスクマ の被験機	フィット・リスク評 している(丸に穴に する必要がある プロセス及び実務的 ネジメントの結果を	、四角い管を押し込 た ISO 14155 要求事 解釈すること、試験 リスク評価に実装す	

では、欧州の他のガイダンス文書がどのように結びつくかを更に明確化する必要 がある。但し、WG4 において、フォーマットと受け入れ可能性を議論すべきであ る。

- ③ MDR によりよく整合するために、ISO14155 の改善
- ・意見募集は 6 月 20 日まで
- ・電話会議を、6月21日欧州標準時14:00(日本時間21:00-)に開催する予定

以上



At this stage I would like to propose a conference call as I think the duration of this first meeting does not justify extensive travel of the WG members. I want to target to hold this meeting on June 21st 2022 @ 14:00 CET. Login details to follow. With kind repards

Danielle Giroud Convener ISO/TC 194/WG 4